

おれんじニュース

No. 229

2009年4月号



青空とマンサク・樹氷と雪のコラボレーション 久住 沓掛山にて

2009/3/15

★集会・委員会・行事関係のお知らせ★ ★山行の一步は会合から★

	4月			5月		
第30回総会	4日(土)	10:00~15:00	西諫早公民館	—	—	—
運営委員会	14日(火)	19:30~22:00	西諫早公民館	12日(日)	19:30~22:00	西諫早公民館
ひまわり集会	3日(金)	13:30~15:30	西諫早公民館	1日(金)	13:30~15:30	西諫早公民館
全体集会	28日(火)	19:00~22:00	西諫早公民館	26日(火)	19:00~22:00	西諫早公民館



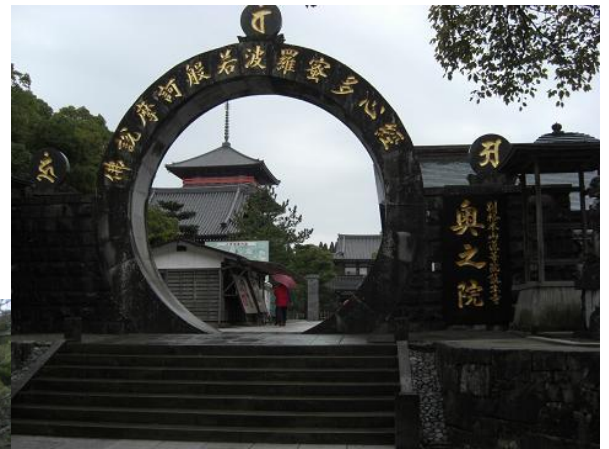
〈中摩殿畑山頂上にて〉 2009/2/15

あの日

あの山

Nakamadonnohatakeyama

Shoutaisan



〈小袋山・観音岳にて〉 2009/2/22



小袋山出発地点
玉名蛇ヶ谷公園にて



〈途中の岩場に祀られた小さな祠〉



4月の山行計画

部	自然保護部	技術研修部	ひまわり山行部	山行部
月 日	8日(水)	11日(土)～ 12日(日)	24日(金)	26日(日)
山 名	長崎原爆遺構巡り	緩木山(1046m)越敷 岳・筒が岳(1296m)	春の里歩き 小長井→サザンカ 高原→湯江	酒呑童子山(1180m) ハナグロ山(1086m)
	浦上駅～金比羅山 他	祖母・傾山群	高来・小長井	(津江山地の山)
地 図	長崎東北部 西北部	豊後柏原・祖母山		鯛生
集合場所	諫早駅 8:45 発	諫早駅裏 ^{ロータリー} 6:00	諫早駅前	諫早駅裏 ^{ロータリー} 6:00
		西諫早駅 6:10	バスターミナル	西諫早駅 6:10
帰着時刻	17:00 頃	12日 19:00 頃	諫早駅着 16:21	19:00 頃
歩行時間			6 時間	5 時間
難 易 度	初心者向き	初心者・一般向き	一般向き	初心者向き
交通手段	列車	マイカー	往路 県営バス 復路 列車	マイクロバス
宿泊施設	日帰り	テント泊		日帰り
温 泉	なし	有り	なし	日田温泉
参加費	交通費	10,000 円程度	バス賃・列車賃	5,000 円
申込期限	前日まで	4月4日(土)まで	4月21日(火) まで	4月運営委員会 まで
集 約	中村かずえ	米田テイ子	江崎幸子	中須賀孝正
	TEL 26-6358	TEL 26-0146	TEL 26-4819	TEL 26-5153
備 考	浦上駅～穴弘法～ 金比羅山～浦上天 主堂～平和公園	詳しくは偵察終了 後連絡。 参加者人数によっ てはマイクロバス に変更予定。	歩行時間 6 時間 田原溜池→湯江駅 携行品 弁当・飲料 水・嗜好品・健康保 険証・他装備 軽登山靴 ウォー キングシューズ等	鬼神伝説の大江山 や伊吹山と同様の 山。近くに金鉱山 鯛生金山跡がある。
感想提出	4月18日(土)まで	4月22日(水)まで	5月4日(月)まで	5月6日(水)まで



5月の山行計画

部	ひまわり・自然保護	技術研修部	山行部	
月 日	2日(土)	10(日)	24(日)	
山 名 (行事)	古賀植木市見学	石楠花寺と平野岳 (895m)	阿蘇山ツツジ鑑賞	
地 図	長崎東北部		仙酔峡～高岳・中岳	
集合場所	J R 諫早駅発 10:01 Or 古賀駅 10:30	J R 諫早駅裏ロータ リ 6:20 西諫早駅 6:30	J R 諫早駅裏ロータ リ 6:20 西諫早駅 6:30	
帰着時間	17時頃	19:00頃	19:30分頃	
歩行時間	5時間		4時間30分	
難 易 度	易しい	初心者向き	初心者・一般	
交通手段	J R・歩き	マイクロバス	マイクロバス	
宿泊施設	日帰り	日帰り	日帰り	
温 泉	なし	有り	有り	
参加費	交通費実費	5,000円	5,000円	
申込期限	4月30日(木)まで	満員になり次第	満員になり次第	
集 約	中村かずえ 26-6358	米田テイ子 26-0146	中須賀孝正 26-5153	
備 考			時間調整でロープ ウェイ利用も有り 得る。	
感想提出	5/15(金)マデ	5/25(月)マデ	6/10(水)	

※5月から、マイクロバス山行の出発時間が下記のように変更になりました。
J R 諫早駅裏発 6:20 西諫早駅 6:30 です。

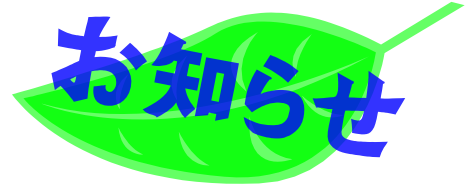
技術研修部から

4月の追加山行です！

4月17日(金)～20日(月)

大山観光 雪見登山と石見銀山

3泊4日 宿泊4,800円の民宿
詳しくは川原まで TEL 43-2909



自主山行 (暇有りバンク)

5月15日(金)～16日(土) やくし山(999m)人吉と五木の山

5月21日(木)～22日(金) 球磨・五木の山 国見・六本杉・白髪山など六座

1泊2日

マイカー利用

希望者は川原まで

TEL 43-2909 まで

新会員紹介……会員一同歓迎いたします

3月入会 高橋 芳子さん 諫早市在住 ☎25-5420

これまでオレンジの山行に度々参加させて頂いた高橋です。会員の金丸さんにオレンジを紹介してもらいました。

数年前の阿蘇高岳や、去年は尾瀬山行にも参加して、少し体力に自信が持てるようになりましたので、入会させて頂きます。

今月15日の久住、星生山行では、初めてアイゼンを着用した山行を経験、ますます山が好きになりました。

皆さん改めまして、よろしくお願ひします。





2月・3月の山行報告

2月3日(火) 新年会(川徳)と 4日(水) 矢上普賢岳・行仙岳

<参加者>

(4日の山行分) 米田、川原、兵庫、松園、中村か、佐原 計6名

(3日の新年会) 松本、平、富永、山崎、下釜、林田、田中し、中尾

合計 14名

<行程> 8:30 普賢岳登山口～9:20 普賢神社～10:00 山頂～2班に分れ

* ゆっくり組は11:30バス停着。帰宅、健脚組は行仙岳

<感想>

本日は、久しぶりの新年会を、仕事帰りの方も参加出来るように、東長崎の近場でする事にした。翌日山に行かない人もわざわざ参加して頂いて、楽しい夜を過ごせた。

翌朝は登山口迄宿の方から送って貰い、早い登山開始となった。近場の山でも、来た事が無い方もあり、喜ばれた。普賢神社の入り口の狛犬の秘密を教えると、ホーとの驚きと、ニヤニヤの笑顔があった。山頂からの景色は牧島や網場の海岸、矢上団地など見渡せたが、携帯電話用の中継設備の工事中で少しがっかり、だんだん自然が消えて行く。健脚組は先を急ぎお別れとなる。

(中村かずえ 記)

2月4日(水) 普賢岳(439m)～行仙岳(456.2m)～船石岳(451.3m)

<参加者> 三山縦走組 川原、米田、松園、兵庫
普賢往復組 佐原、中村(か)

<行程> 登山口 8:30→普賢神社 9:30→普賢岳山頂 10:00→山頂出発 10:10→行仙岳 10:20
→船石岳登山口 11:00→登山口出発 11:10→船石岳山頂 11:55—(昼食)— 山頂出発
12:20→上座(雅松園) 12:40

<感想>

昨夜の新年会では美味しい料理で気持ち良く飲み、今朝も予想以上に品数の多い朝食である。その上女性達には弁当のおむすびまで作ってもらい、たった6人だが川徳荘のマイクロバスで登山口まで送ってもらう。8時半登山開始。

丁度「立春」の日であり、空は一片の雲もない青空。いかにも春が来たという感じだ。登山道の梅の木も蕾がふっくらとしている。なかには満開に近い白梅と、隣の寒椿の赤い花が

良く調和して目と心を楽しませてくれる。絶好の登山日和である。

普賢岳は「ふげんさん」と呼ばれ信仰の山である。普賢山法華院から眼下の網場の町や海を眺めたり、龍神堂の岩壁に刻まれた大壁画を見上げたり、何体もの菩薩像などを拝顔しながらユックリと登り、昨夜のアルコール分を消化する。

普賢神社の左・右の狛犬はチョット変わっていて、左が雌、



私が雌です

右が雄だとNさんから教えてもらおう。皆さんは何故オス・メスの区別がつくかわかりませか？……ワカラナイダローナー。

……ソレハネ、この狛犬をお尻の方から見ると、オスとメスのシンボルがハッキリと造られているのであります。私もまた一つ知識が増えました。皆さんも興味のある方は、機会があれば一度ごらんになっては如何でしょうか！



ボクが雄です

山頂近くの展望所からは牧島が一望できる。曾てクロ釣りに、早朝から何度も通ったことが思い出されて懐かしい。ひまわり山行部で牧島一周を計画しようかとの話も出る。

私達と前後しながら、コンクリートのブロックを背負って、登っていた若い作業員が休憩している。山頂に設置した携帯電話用アンテナのフェンス支柱を取り付けるブロックで、ヘリコプターにて運んだが、1個足りなくて担ぎ上げてるそうだ。約20kgとのこと。

救助訓練で練習を積んでいるオレンジの女性軍、試しに背負わせてみてと果敢に挑戦する。頼もしい限りである。腰ベルトもない簡単な背負子や、人間とは違い無機質な固形物では勝手が異なり、膝にもズシリとくるらしい。改めて登山用リックの機能性の良さを認識する。

普賢岳山頂の光景は一変していた。テレビ中継用や携帯電話用の大きなアンテナが3基も建っている。このようにだんだんと文明の利器のため、自然が破壊され、山の様子も変わっていくのかと懔然たる思いになる。

ここで来た道を下山する二人と別れ行仙岳へと向かう。踏み跡も判りやすく10分で行仙岳山頂。ここからは滑りやすい急な下りで、立木にすがりながらひたすら下る。Kリーダーはアルコール分が抜けてきたのか、例の如く「ホッ、ホッ、ホッ」と調子よく下っていく。

下りというのに汗がでる。やはり滑って怪我をしないよう神経を集中していたためだろう。

40分ほどで船石岳との鞍部になる車道に出て「ホッ」とする。

船石岳は初めてであり、高さも行仙岳と殆ど変わらない。結構登ったところのピークが山頂かと思いきや、まだ先がある。早速地図で確認し進む。正午5分前に船石岳山頂到着。

早春の柔らかい陽射しの中で昼食にする。船石岳からは、行仙岳に負けぬ位のくだりを、また立木に掴まりながら落ち葉をけて一気に降り、上座に20分で着いた。

普賢岳からの道程は眺望もなく、里山にしては急な上り下りであるが、事故もなく心地よい疲労で十分に満足した山行であった。

上座では松本さんの実家「雅松園」で暫時休憩し、富永さんの車にて送ってもらい1時過ぎには帰り着いた。松本さん、富永さんお世話になりました。

(兵庫芳隆 記)

2月15日（日）中摩殿畑山(991m) 耶馬溪西部

〈参加者〉

川原 (CL) 福岡 兵庫 中須賀 坂口 松尾と 中村か 岩永 本秀 (会計) 小宮
(会計) 米田 松園 金丸 こもれば (宇野 村川) 外 (高橋) 計16名

〈行程〉

JR 西諫早駅 6:10→東彼杵 6:35→道の駅やまくに 8:30→岩伏駐車場 8:53→中摩殿畑山山頂
(10:30~11:00) →昼食 (11:45~12:15) →岩伏駐車場 (12:40~12:50) →天の岩戸 13:10→
岩伏駐車場 13:55→雪舟庭→やまくに温泉 15:20→諫早 17:50

〈感想〉

“まさかこんな場所があるなんて・・・！”

山行が近くなると楽しみもさることながら、体調のこと、装備のこと、天気のこと等何かと気がかりなものです。しかし、今回はとても気楽に参加できました。

な～んでか？

12月25日～26日とテント泊で中摩殿畑山、樋桶山、檜原山と初めての偵察山行に参加させていただき、コースや難易度などを自分で体感していたからです。おまけに、天気にも恵まれました。

このところ2月とは思えない陽気で、地球温暖化のことも気になります。しかし、山行の日はそんなことはおかまいなしです。暖かければ、早朝の出発もぜんぜん苦にならず“あ～良かった～！”と自分勝手な私です。

東彼杵インターで“こもればの2名”の方が乗車され、これで総勢16名が揃いました。金立サービスエリアまではまだまだ寝ぼけ眼でしたが、ここでお茶や朝食を摂った後は皆さん元気が出ていつもの賑やかさが出てきました。川原CLから今日の山行計画について説明された後、各班のPL、SL、救助から一言です。

高速道を日田で下り、国道212を走ります。「道の駅やまくに」にて休憩の後は田野尾川に沿って、非常に狭い道を岩伏駐車場に向かいます。偵察した時はマイクロバスで大丈夫？と思いましたがさすがプロフェッショナルです。

ストレッチの後、2班に分かれ登山開始。なだらかな杉林の中、足下はフカフカで歩きやすく、気分爽快です。30分も登ると、偵察では迷った所だったのですが、倒木はかたづけられ、しっかり標示がしてあります。しばらくは急な登りです。その後尾根づたいに歩くと見晴らしの良い山頂です。八大龍王の祠があります。

山頂からは先月登った英彦山と去年登った鷹巣山がくっきり見えます。それぞれに思い出深く、記憶に新しい山を遙か彼方に望めるとはなんとも幸せな気持ちでした。30分程山頂での眺望を楽しんだ後下山開始です。

11時45分、林道の日当たりの良い所で昼食です。宇野さんは、昼食もそこそこに川原さんからロープワークの指導を受けられました。OHクラブの会員は川原さんから毎月1回ロープワークの指導を受けているからか、ドンと落ち着いて食後のデザートを楽しんでいました。

下山後は岩伏駐車場で10分位休憩し、偵察の時は行かなかった天の岩戸にむけて出発です。前に続いて登っていましたが、途中足場が悪くなり、少し引き返した後沢登りとなりました。

天の岩戸にある岩橋の西京橋は、息をのむほどの迫力です。これに見とれていると、突然煙が舞ってきました。と思ったら、なんと杉花粉とのこと。私はただ珍しがっていましたが、花粉症の方が数人おられとても気の毒でした。



西京橋の袂まで来たので、ここで終わりと思い下山した方もいました。しかし、これからが本番だったのです。“まさかこんな場所があるなんて…！”そこは事前のガイド本では知る由もない、岩場あり、鎖場ありの難所でした。必死で登り、下りがこれまた大変でした。ロープワークを経験していなかったら、とても怖くて挑戦出来なかったと思います。

やはり現地に行って初めて分かるものだと痛感しました。岩場、鎖場を克服でき、皆さんとても充実したハレバレとしたお顔でした。

途中、眼前の山に見える鷲岩と京岩を借景にしたと伝えられる雪舟庭に立ち寄りました。凡人の私には、理解に苦しむ程の風流な庭に、530年の時を経て、今なお梅の実をつけると言う梅の木が硬いつぼみをつけていました。少しだけ、いにしえに想いを馳せることができたかしらん…？

「道の駅やまくに」の隣にある「やまくに温泉」で汗を流し、一路諫早へ。お肌スベスベの温泉の泉質にも満足でした。とても楽しく、充実した山行でした。ありがとうございました。

(米田テイ子 記)

2月22日(日) 玉名の山 小岱山 (丸山、観音岳、筒ヶ岳)

<参加者> 中須賀 平 (会計) 米田 川原 川内 田中し 中野 (会計) 樋口 中村か

計 9 名

<行程> 6:00 諫早駅裏出発～8:30 玉名蛇ヶ谷公園着～8:50 登山口～10:40 丸山～11:20 観音岳(昼食) 11:45 発～12:20 筒ヶ岳～13:20 府本より、バス ～蓮華院～玉名温泉～18:00 諫早着

<感想>

本日は、風邪流行の為か参加者少なく、小型バスで出発した。登山口、蛇ヶ谷の名前の由来は、



皇円上人が永遠の生命を持つという龍に化生して衆生を濟度しようとして入寂されたからとのこと。自然歩道のせいか、丸太の階段が多く歩き易い。小雨の為少し早足気味。昼食は御堂様の中をお借りしての立食で済みます。各山頂も晴天であればもっと展望が素晴らしいであろう。巨石が多く、所々白い砂地が見られ、大昔は海の底だったかも？

下山後は蓮華院に寄り、200年以上という素晴らしい枝ぶりの梅の盆栽展や、高度な押し花展を観る事が出来て、すごくリッチな気分。こんな老木にも美しい花をつけるのを見て、「私も

まだまだ二花も三花も咲かせられるかな」 との声が聞こえた。帰りは安い町営温泉でゆっくり出来、今回もまた幸せな一日を頂き、参加出来なかった方は残念でしたね。

(中村かずえ 記)

3月4日(水)井樋ノ尾岳 で 読図学習

<参加者> 中須賀、平、米田、川原、松尾と、本秀、小島、兵庫、松園、中村か
外、藤瀬 計 11 名

<行程> 9:00 西諫早駅出発～9:30 井樋ノ尾観音～10:35 龍石社登山口
～10:45 龍石権現～11:00 御籠立場分岐～12:200 山頂(昼食)
～12:50 発～13:50 御籠立場登山口～14:20 龍石社登山口着

<感想> **会として、こういう山行が組めるのは羨ましく、見習いたい**

本日は、曇りで小雨気味。車3台にて出発する。生憎の天気のため、地図の書き込みは西諫早公民館玄関ホールを借りて、蛍光ペンで尾根や谷を書き込む。龍石社登山口へ到着。

初めてのコースで皆目分からないが、途中で長崎街道に入る。標識もあり、道も整備されている。早くも、一輪のシャクナゲが咲いている。崖にはサツマイナモリの白い小さな花がいっぱい。

地図を片手に谷を左に見ながら、右の尾根へ。トド岩のユーモラスな姿に皆大笑い。程なく龍石権現へ。雨乞いの神様との事。ここで周りの地形と地図を見比べる。なるほど漠然とではあるが、位置関係が分かる。井樋ノ尾岳頂上は見晴し無し。早めの昼食を摂り、分岐へ戻る。磁石を出して、方向確認し龍石社登山口へ。

地図や磁石を見ながら歩くのは本当に大変だ。やってみると足元が気になって簡単ではない。要所での確認と事前に地図を読み取っておく事の大切さが実感できた。

会として、こういう山行が組めるのは羨ましく、見習いたい。今日もまた大いに笑い、山の気を頂き元気になりました。有難うございました。

(藤瀬 記)

3月8日(日)

オープンハイキング登山

船山、八幡岳縦走と牛尾梅林

<参加者>

(一般参加) 井星義 調雅章 緒方敬子 榎原美枝子 高森陽子 松永銑子

(会 員) 福岡 中尾 松尾と 米田 佐原 田中ひ 中村か 中須賀 松園 川内
兵庫 林田 江崎 平 山口(い) 川原 調 中野 (24名)

<行 程>

諫早駅 8:00～西諫早駅 8:10～川登 S A～武雄北方 I C～船山登山口着 9:25

登山開始 9:45～船山山頂 10:30～池高原 11:25 池高原出発 11:30～八幡岳山頂 12:10 (昼食休憩) 山頂発 13:15 (マイクロバス) 牛尾梅林 14:00 (梅林散策) 牛尾梅林発 15:00～温泉着 15:30 (アイル) 温泉入浴～温泉発 16:30～多久 I C～諫早着 17:30

<感 想>



最近は天気が変わりやすく、私が参加する山行は、ほとんど前日晴れ、当日小雨、そして翌日晴れ、といまいましたばかりの天候でした。それだけにオープンハイクでは一般の人にも参加されるので晴れてほしいと願っていました。

出発までは曇り。どうか降りませんようにと願うような日差し。約1時間ほどで船山キャンプ場へ到着。ストレッチの後、登山開始。最初からずっと続く急登でオープンハイクだから楽な山を選ばれているだろうと思ったのは甘かったようです。しかし、登り始めて15分で休憩。そしてまた登り、30分後には休憩。しかもゆっくりペースだけに周りを見回せるゆ

とりもできました。

九州自然歩道は落葉樹のじゅうたんのようで気持ちよく、春を待つ木々の新芽が心を和ませてくれます。その一方、杉林が頂上近くまで続き、どっさりとした茶色の花粉が、ひと吹き風の飛んできそうな感じもしました。頂上に着く頃はすこしずつ晴れ間ものぞき天山、作礼山、そして次に登る電波塔がたくさん建っている八幡岳などが見えました。

山頂で10分ほどの休憩後に八幡岳へ向かって出発。稚児落としのような急坂を下り、池高原へ。池高原から車道を横切り九州自然歩道へと入ると再び急登、続いて小石の多い、がれ場をあえぎあえぎ登りました。二度ほど電波塔への管理道路と交差し、40分ほど歩くと広場に出ました。そこからは現代のコンクリート道路を歩くことになります。

坂道、がれ場ではあっても足ざわりは軟らかい道路をずっと歩いてきただけに、コンクリート道は足にこたえます。とことこ歩いている横を車がスーと行き過ぎるのを見るとなんとなくむなしく、やはり車が行けるところにはごみが多いと悔し紛れの思いを胸に抱きつつ山頂へ。

12時10分全員無事到着。そして三々五々昼食。帰りのバスに乗り込んだ後、食事場所と違うところに2等三角点があるとのことで、再びバスを降りて三角点のある所へ3分ほど歩きました。この頃はすっかり天気もよくなり、さっき登った船山、浮岳、天山、遠くに多良山系など、眼下には、麦のみどりにおおわれた蕨野棚田も見えました。

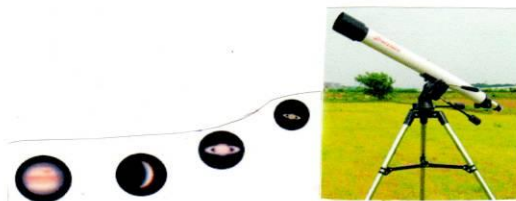
最後に牛尾梅林へ。梅林への途中、麦畑の緑と菜の花の黄色のコントラストが見事でした、梅の花はたしかに時期外れていましたが広いい梅園は「きれいだったやろね」「来年は梅の時期にぜひきたかね」の会話がひろがり、牛尾神社に無事登山のお礼参りをして、待望の温泉へ。

帰りのバスの中では恒例のビールで乾杯。そしていつもの賑わい。そのうえ、うれしいことにお二人の方の入会宣言に全員大拍手。とても楽しい山行でした。

(中野美津子 記)

2月21日(土)

星空の逍遥



<参加者> 川原、富永、中村(か)、松園、川内、田中(静)、下釜、小宮、鎗水、
計9名

<行程> 晴天 JR 諫早駅裏 22:00~コスモス花宇宙館 22:30~土星着 23:00~諫早着 24:00

<感想>

子供のころ天体望遠鏡がほしくて自分で作り、火星を眺めたことがある。大人になったら働いて必ず買おうと思ったが、いつしか星空を眺めるロマンも忘れ茫漠たる時が過ぎてしまった。

宇宙館では、多くの老若男女が暗がりの中でわくわくしながら望遠鏡をのぞき、歓声やため息をもらしている。

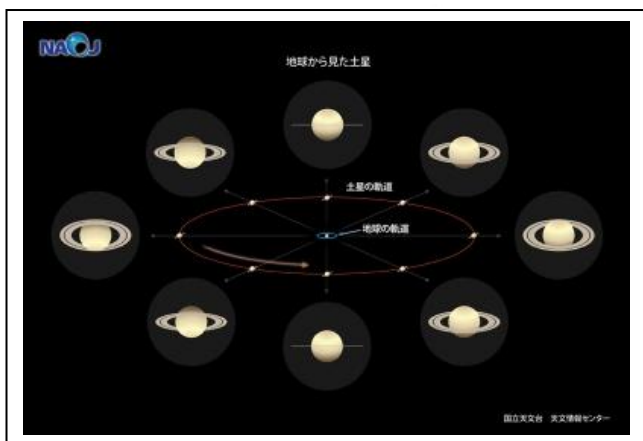
北斗七星やオリオン座が澄んだ夜空にくっきりと浮かび、昴も見える。北の何もない所にレンズを向けると宝石を散りばめたように無数の星屑が集まっている。南には地球から遠ざかりつつあるルーリン彗星の尾が見える(はずであったが、殆ど分らず)。

そして少しその上空にひと際明るい星が見える。レンズをのぞくと串を刺したような土星が姿を現した・・・！感激の一瞬である。8月には地球から見て輪が完全に水平になり、輪のない土星になるそうである。

諫早に帰還したら現実に引き戻された、ブルブル・・・。

でも計画してくれた方々に感謝。

(鎗水 律夫 記)



当日観測した土星

土星の環の傾きの変化



農作業の体験

グリーンツーリズム ってご存知ですか

**農村や漁村での長期滞在型休暇。
都市住民が農村などにホームステイして農作業
を体験したり、その地域の歴史や自然に親しむ
余暇活動。**

(大辞泉)

2月17日から3泊4日で大分の臼杵市野津町という所に農家民泊してきました。(私、御館山でころんで一週間目の外出でした。幸い前日にオーバーな固定帯みたいなのはずれて通院もなくてよいとの事。) 臼杵市までは高速を走り通勤割引で3千円位。午前中に着いたのでまず手頃な寿司屋に入って地元の自慢の箱寿し(鱈鮓と穴子鮓)をほうばる。

臼杵市では図書館に入って市内の下調べと臼杵城跡を散策。薬師の湯というありがたい、みょうにぬるぬる感のある湯でみがきをかけてからいざ今晚のおやど「とんちの家」へ。



普現寺のアセビ(馬酔木)

野津の農家ではいろんな経験をさせてもらいました。まず、臼杵市内と国宝石仏の見学(ガイドの方の詳しい案内付き)。農業体験(今回は里芋の掘り起こしと8又に分かれた棒をつかっての里芋洗い作業)。大分の郷土料理だんご汁作り。こんにやくいもからのこんにやく作り。それから、自分達で薪で沸かしてはいる五右衛門風呂!。吉四六さんの語りを聞いたり。(山下も一つだけお話を披露する。)今回はモニターという事もあって農泊する所は三軒の家を泊まり歩いたけどだいたいは一軒に農泊

するのがルールらしい。朝夕2食食べさしてもらって6千円前後が相場らしい。

農家の方とのコミュニケーションが楽しく、いろんなやさしさがうれしくて土の着いた野菜、じまんのお漬物など車に積みこめない程のお土産を載せて野津町を後にした。中村かずえさんに誘っていただいて私の膝の転んだことも忘れてしまう旅でした。

(山下ちず子 記)

情報収集のアンテナを四方に張り巡らして、今私は多いに遊んでいます。

長崎からの帰り「かもめ」の冊子、最後のページに目が留まって、縁が出来、農家体験が出来て、一つ故郷が出来て嬉しいです。何故かと言うと「臼杵市の町おこし」の一卷で、吉四六さんの里、野津町モニターツアーに参加出来ました。あかの他人の自宅に泊まらせて貰い、台所での手伝いや、畑仕事の真似事の土いじり等、実家に返った様なほっとする時を過ごしました。

どのお宅も優しく接して頂き、ついお父さん、お母さんと言ってしまうほど、自分の歳を忘れて甘えて来ました。

夜遅く迄、皆集まって話が弾み、別の2名の方とも旧知の友の如く、一緒に行動して、里山の暮らしを楽しんで来ました。人の温かさに触れ、人との交流は素晴らしい事を再確認出来、とても嬉しかったです。

(中村かずえ 記)



臼杵の鍾乳洞
こうもり？

めずらしいもの
発見！



山行の途中、一本の木なのに葉の形が異なる樹木を発見！カクレミノ (うこぎ科) という植物で関東南部以西、四国、九州にはえ、若い枝の葉は裂け、古い枝では全縁のも混じるということです。和名「隠蓑」は3裂した葉形を蓑にたとえた。



何を撮った？
運動公園のメタセコイア
にカササギの巣を発見！

